

別紙)「第4次宝塚市環境基本計画(案)」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

・意見の募集期間 令和8年(2026年)5月1日(金)～6月1日(月)

・提出意見件数 9件

※ご意見ありがとうございます。

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けて の見直し結果
1	計画全般に関する こと			環境基本計画は、主としてどのような対象に読まれることを想定して作成されているのでしょうか。 市民への理解や行動変容を促すことも目的の一つであるならば、現在の構成では、冒頭から「環境都市宣言」「気候非常事態宣言」「市長メッセージ」と続くため、市民にとっては「自分の暮らしとどのように関係するのか」が伝わりにくく、関心を持ちにくいのではないかと感じました。 特に冒頭部分は、その後の内容を読み進めてもらえるかどうかを左右する重要な「掴み」のページだと思います。行政計画として一定の構成上の要件があるのかもしれませんが、例えば冒頭に「宝塚市の未来は、私たちの暮らしから変わる」といったメッセージを掲げ、温室効果ガス排出量の約4割が民生部門由来であることや、一人ひとりの暮らしの変化が大きな効果につながることをわかりやすく伝える内容を配置してはどうでしょうか。市民が計画を自分事として捉えるきっかけになると思います。 また、施策の周知方法として「市の広報誌」や「FM 宝塚」が挙げられていますが、これらだけでは幅広い世代へのリーチには限界があるように感じます。例えば、公立学校を通じて保護者向けにチラシを配布するなど、市民の日常生活の中で自然に情報に触れられるような周知方法も検討していただき、可能であれば計画にも盛り込んでいただきたいと思います。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 環境基本計画は、具体的な環境施策についての方針や考え方を示しているものであり、市民や市内事業者の方々に幅広く読んでいただくことを想定しています。 行政計画は、市民の皆様にとっては関心を持ちにくいかもしれませんが、本計画に沿って掲げている各取組を実施していきます。 また、概要版以外にも、本計画に対してより関心を持ち、自分事として捉えていただけるよう、本計画の内容をわかりやすくまとめた小冊子の作成も検討していきます。 あわせて、ご提案いただいたような多様な方法により周知していくことも検討していきます。	
2	特定の部分に関する こと	5		5ページの表右上の再生可能エネルギーの推進に太陽光発電等の再生エネルギー設備導入とあるが、自然を切り開いてのソーラーパネルの設置は景観を損なうので反対。 景観に関わらない建物の屋上だけにしたい。 また、ソーラーパネルは中国製品が多い。セキュリティ、内需の観点からも国産のパネルを使って欲しい。 地方で自然を破壊して設置された中国製メガソーラー群の悲惨な状況をたくさん見てきています。頼みます。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 兵庫県では太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例を定め、無秩序な設置を抑制し、良好な景観保全、災害防止、地域との調和を事業者に対し義務付けています。これにより、自然破壊や景観を損なう設置は規制されます。 また、本市でも再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例を制定し、再生可能エネルギーの利用の推進は、地域への影響に配慮して周辺住民との十分な合意形成に務めた上で行われなければならない旨を規定しています。	

3	特定の部分に関すること	49 50	49.50 ページの地域主体の再生エネルギーのところです。バイオマスについて、宝塚市は西谷の方で余っている木材もあるのでもう少し詳しく書いたら良いと思いました。太陽光パネルは写真がありますので、バイオマスも写真つきだとよりわかりやすいと思います。 あと、全体的に堅苦しいので所々キャラクターを入れたりなど読みたい！楽しそう！と市民に思ってもらえるような工夫が必要だと感じました。	【ご意見ありがとうございます。一部は本計画に反映し、今後の参考とさせていただきます】 西谷地域では、兵庫県が県有林の伐採による木質バイオマス活用の可能性を検討しています。本市としては、県と連携し、住民説明などを実施しています。木質バイオマス関連の写真については、50 ページに追加させていただきます。 また、気軽に本計画のことを知っていただけるよう、概要版を作成していますが、本計画の内容をよりわかりやすくまとめた小冊子の作成も検討していきます。	50 ページに木質バイオマスボイラーの写真を追加しました。
4	特定の部分に関すること	51	【意見の概要】 現役・共働き世帯の行動変容を促す、UX(ユーザー体験)を重視した脱炭素・循環型施策の具体的な推進について 【意見の具体的理由・内容】 計画案に掲げられた「環境都市・宝塚」の実現に向け、特に仕事と育児を両立する現役世代が「無理なく、自発的に」参画できる仕組みづくりとして、強く要望します。 生ゴミ処理機助成の拡充による「ゴミ減量」と「QOL」の両立(P.51 関連) 家庭ゴミの重量の多くを占める生ゴミ(水分)の削減は、焼却エネルギー削減に直結します。 現在の助成制度をさらに拡充し、特に「処理能力が高く、家事負担を増やさない最新機種」も対象とした実効性の高い補助金制度を求めます。これは、ゴミの減量という行政側のメリットと、家事の衛生向上・負担軽減という市民側のメリット(QOL 向上)が一致する、極めて投資対効果の高い施策です。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 家庭から排出される生ごみの減量は、ごみ全体の減量化や焼却時の環境負荷軽減につながる重要な取組であると認識しています。本市においても段ボールコンポストの啓発や食とわコンポストチャレンジの後援事業で、生ごみの減量を推進しています。 助成制度の見直しについては、制度の需要や費用対効果、財政状況等を総合的に勘案しながら、今後の施策の参考とさせていただきます。	
5	特定の部分に関すること	53	【意見の概要】 現役・共働き世帯の行動変容を促す、UX(ユーザー体験)を重視した脱炭素・循環型施策の具体的な推進について 【意見の具体的理由・内容】 計画案に掲げられた「環境都市・宝塚」の実現に向け、特に仕事と育児を両立する現役世代が「無理なく、自発的に」参画できる仕組みづくりとして、強く要望します。 生活動線に組み込んだ「ついでに資源回収」のインフラ支援(P.53 関連) 特定の回収拠点へ足を運ぶことは、分刻みで動く共働き世帯には大きな壁です。 市内スーパーマーケットや、今後普及が見込まれるネットスーパーの配送網、集合住宅の共有スペース等を活用した「生活動線上の回収拠点」への支援を強化してください。民間ポイントとの連動など、インセンティブを付与することで「おトクに、楽しく」資源循環に参加できるスキームを官民連携で構築することを求めます。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 資源物の回収については、市民の皆様が無理なく資源循環に参加できる環境づくりが重要であると認識しています。本市では、地域の集団回収やスーパーマーケット店頭回収の紹介など、多様な回収機会の支援と周知に努めています。 ご提案いただいたスーパーマーケット等の民間事業者との連携や、生活動線に配慮した回収体制の充実、インセンティブの活用につきましては、資源回収の利便性向上に向けた取組の一つとして、社会情勢や民間事業者との連携状況等を踏まえながら今後の施策検討の参考とさせていただきます。	

6	特定の部分に関する点	53 78	【意見の概要】 現役・共働き世帯の行動変容を促す、UX(ユーザー体験)を重視した脱炭素・循環型施策の具体的な推進について 【意見の具体的な理由・内容】 計画案に掲げられた「環境都市・宝塚」の実現に向け、特に仕事と育児を両立する現役世代が「無理なく、自発的に」参画できる仕組みづくりとして、強く要望します。 デジタル技術を駆使した「ゴミ出しの認知負荷」の極小化(P.53・P.78 関連) 53 ページの分別徹底には、市民の「知識」だけでなく「利便性」が不可欠です。現状のホームページや広報誌による情報発信は、多忙な現役世代には到達しにくいのが実態です。 単なる情報掲載アプリに留まらず、AI による即時分別判定、位置情報に連動した収集日のプッシュ通知、さらにはスマートスピーカー(Alexa 等)との連携による音声案内など、UX(ユーザー体験)を重視したデジタル環境を整備してください。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 現在、市の公式 LINE アカウントやごみ分別アプリ「さんあ〜る」にて収集日のお知らせ通知やごみ分別検索を配信しています。今後もさらなる利便性向上を目指し、デジタル環境の整備を検討していきます。
7	特定の部分に関する点	53	神戸市では、ごみの水平リサイクルにも積極的に取り組まれています。 https://www.city.kobe.lg.jp/a25748/kurashi/recycle/tsumekaepackrecycle.html ごみに関しては、宝塚市は分別基準が比較的緩やかであるため、私はリサイクルに出したいものを神戸市へ行く際に持参している状況です。 さらに、財政規模が大きい地域でも、鹿児島県大崎町のように、ごみ分別を工夫し高いリサイクル率を実現している自治体もあります。 https://www.town.kagoshima-osaki.lg.jp/kn_kankyoseisaku/documents/resource.pdf ごみ処理の問題は、環境全体、ひいては生物多様性にも関わる重要な課題だと思います。生物多様性の保全とあわせて、ごみ処理やリサイクルについても具体的な目標を設けていただければ幸いです。 環境に配慮した宝塚市となり、市民が誇れるまち、他市の方にも自慢できるまちになっていくことを願っています。	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 ご紹介いただいたごみの水平リサイクルや先進自治体の取組について、資源循環を推進する上で参考となる事例であり、本市でも資源の有効活用やリサイクルの推進に努めるとともに、民間事業者との連携による資源循環の取組を進めています。また、ごみの分別方法については、市民の皆様の分かりやすさや排出しやすさ、収集・処理体制、資源化の効果などを総合的に勘案して定めています。 本計画はごみの減量及び資源循環の推進を施策の方向性として位置づけていますが、個別のリサイクル手法や数値目標については、宝塚市一般廃棄物処理基本計画で定めています。

8	特定の部分に関すること	55	環境基本計画の策定ありがとうございます。 宝塚市の生物多様性を守るため、「地産地消や環境に配慮した農業推進」について意見を述べさせていただきます。私は趣味で養蜂を始めました。西谷で養蜂をしていることを知人に伝えると、多くの方から西谷でするなと特に「農業には気を付けた方がいい」と助言を受けます。調べてみると、全国的にネオニコチノイド系農薬のドローン散布などにより、ハチが減少していることが問題視されていました。 また、生物調査をされている方からも、地域の生き物が減少しているという懸念を聞いています。 もちろん、米の安定供給のためにカメムシ対策などの農薬が重要であることは理解しています。しかし、このままの状況が続けば、宝塚市の生き物が減少し、農村地域であるにもかかわらず、生物の少ない寂しい里地里山になってしまうのではないかと不安を感じています。 神戸市では、2024 年 10 月にオーガニックビレッジ宣言を行われています。 https://www.city.kobe.lg.jp/a67688/kanko/nogyogyo/nosuisanbutsu/kobeorganic.html	【ご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます】 生物多様性の保全の観点からも、減農薬の促進は重要であり、ご紹介いただいた先進市の事例を参考にして、啓発強化を検討していきます。	
9	特定の部分に関すること	55 58 69 73	○市民アンケート アンケート回答総数の記載がない。分母の記載がないと評価しにくいと感じます。 もし、アンケート回答総数が 3 件で 2 件が達成回答でも評価する？ アンケートの質問の記載は必要と考えます。(○件中2件が達成など) 3 択でも評価できるように見えます。	【ご意見ありがとうございます。追記いたします】 市民アンケートにつきましては、定期的に本市で実施しているものであり、直近 2023 年度に実施しました。当該アンケートの有効回答数(分母)は 574 件となっており、十分な回答数を確保した上で分析を行っているため、アンケート結果は評価対象となり得ると考えています。 なお、より客観的に評価いただけるよう、アンケートの有効回答数(分母)を明記いたします。	各ページの【環境指標】に以下のとおり、追記しました。 (①2015 年度欄②現状欄) 55 ページ ①[N=1,368 件]②[N=574 件] 58 ページ ①[N=1,368 件]②[N=574 件] 69 ページ ①[N=1,368 件]②[N=574 件] 73 ページ ①[N=1,259 件]②[N=574 件]